

那須良輔の魅力を全国へ！ 「出前まんが美術館」

湯前まんが美術館－那須良輔記念館－

地域おこし協力隊



湯前まんが美術館

- ・1992年(平成4年)11月、湯前町出身の政治風刺マンガ家・那須良輔の功績を保存・展示する施設として開館。
- ・建物は「くまもとアートポリス」参加作品。球磨地方の杉と檜を使用し、地元の伝統的な大工技術を駆使した木造建築。
- ・那須良輔作品7,213点、遺品や写真などを含めると1万点以上の那須関連資料を収蔵。

那須良輔

【1913-1989】



大正2（1913）年、湯前村（現・湯前町）生まれ。画家を目指して上京後、太平洋美術学校（現：太平洋美術会研究所）に通いながらマンガを描き出します。

昭和8（1933）年に少年向けマンガ雑誌でデビュー。昭和15（1940）年頃から風刺漫画の世界に入り、毎日新聞の専属風刺漫画家として活躍。数万点におよぶ作品を発表しました。

現在、湯前まんが美術館には、**7,213点の原画作品**を収蔵しています。

収蔵品紹介

①風刺マンガ

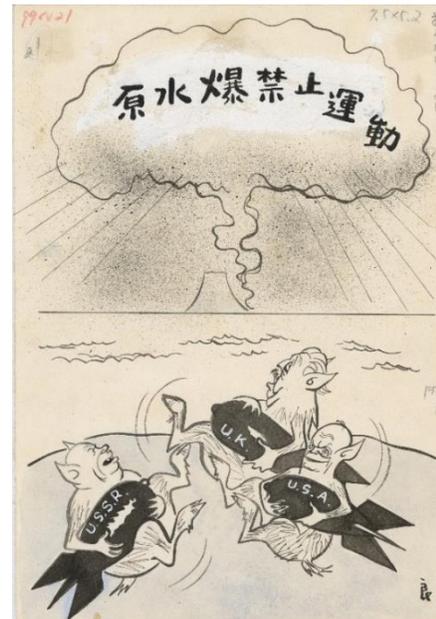
毎日新聞連載の風刺マンガをはじめ、各メディアに掲載された政治風刺マンガを多数収蔵。

那須自身の風刺マンガ家としてのキャリアが約50年に及ぶ（1940-1989）ため、戦争、環境問題、国内政争など多様なテーマの作品が残る。

「赤い人工衛星打上げ」



「きたない公約」



「おろかなる文明」

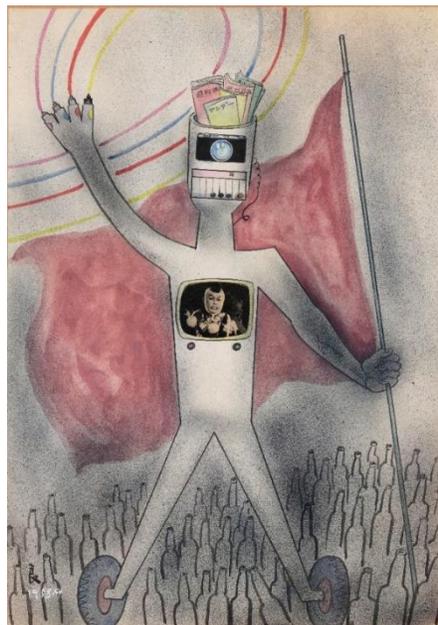
「これならおぼれまい」

②風刺画

新聞掲載のマンガとは別に、個展の開催などに合わせて描かれた風刺画。

メッセージ性が強い大作の絵画作品。

「へそのない人間」



「ロン・ヤス」



「麻雀」

③ 似顔絵・人物画

時の政治家や文化人をコミカルに、シニカルに描いた似顔絵。

ケネディ



吉田茂



毛沢東



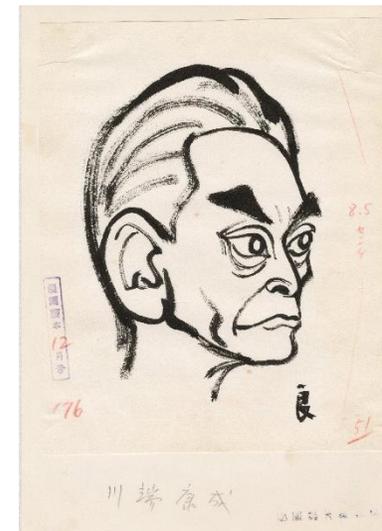
大佛次郎



小林秀雄



川端康成



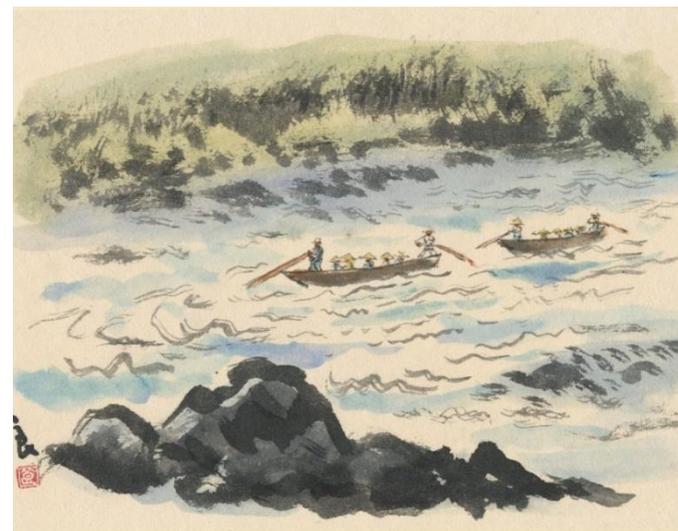
④風景画・ 動植物画など

風刺マンガとは異なる
柔らかな筆遣いで描か
れた風景画や、どこか
ユーモラスな味わいの
ある生き物たち。

「むつごろう」



「球磨川下り」



「餅焼」

⑤写真資料

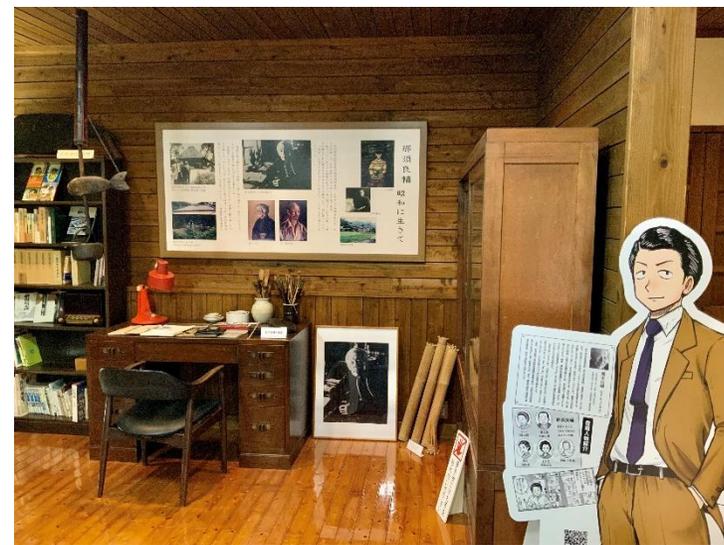
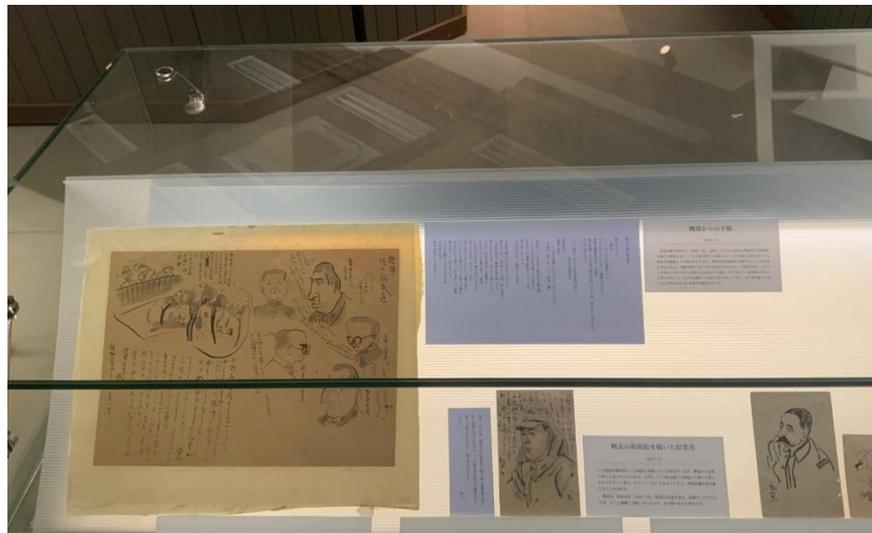
少年時代の写真から、
日中戦争出征時の写真、
マンガ家として成功した
後小林秀雄ら友人と
ともに撮った写真など
多数収蔵。



⑥ 関連資料

作品のほかに、遺品、戦地から家族へ宛てた手紙などを収蔵。

常設展示室には那須が鎌倉の自宅で使用していた書斎を再現し、机や椅子、画材など本人が使用していたものを間近に見られるようになっています。



「出前まんが美術館」(館外展覧会)

当館に収蔵されているさまざまな那須良輔作品・資料を、他館に**展示会として**
そのまま持ち込み可能なパッケージ化



「出前まんが美術館」！

県内外の美術館、画廊、展示場などで“那須良輔展”を開催し、多くの方に那須良輔の作品を知ってもらうのが目標。

「出前まんが美術館」(館外展覧会)

- 作品には時代背景や成立事情を詳しく解説したキャプションが付き、ご要望に応じて解説員(学芸員、地域おこし協力隊員)を派遣。
- まんが美術館で過去に開催した那須良輔展を「巡回展」として移送することもできます。



「出前まんが美術館」(館外展覧会)

○令和4年度11月より県内外各地で展示を開始し、現在までに**13会場**での開催を実現。
累計で**約8000人**が来場しています。



美術館や文化施設で



公民館など小さな場所でも◎

「出前まんが美術館」(館外展覧会)



現地での出張ワークショップも私たちが行います。
大人も子どもも楽しめるオリジナル缶バッジづくり、マンガ家おしごと体験etc...
那須良輔作品の解説など、展示と合わせた郷土教育のイベントも承ります。



「出前まんが美術館」(館外展覧会)

○「出前まんが美術館」の開催や、今後の展開については、まんが美術館ホームページでも随時紹介しています。

湯前まんが美術館
yunomae-manga.com



お問い合わせ先

「那須良輔の作品展示に興味がある」
「展示ができそうな場所を知っている」
まずはお気軽にご相談ください！

☎0966-43-2050（湯前まんが美術館）

地域おこし協力隊運営X/Instagram:@yunomae_manga

